

北薩地区社会福祉協議会

災害時相互応援協定を締結



↑ 調印後、北薩地区社会福祉協議会長らと手を握り合う早崎長島町社会福祉協議会長（中央）

長島町、薩摩川内市、出水市、阿久根市、さつま町の5市町の社会福祉協議会からなる、北薩地区社会福祉協議会は、9月9日、町開発総合センターで、県内初となる災害時相互応援協定を結びました。

この協定は、北薩地区において大規模災害が発生し、被災した地域の社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターの運営や災害救援活動が十分に実施できない場合に、近隣市町の応援を受け、災害救援活動を円滑に行うことを目的としています。

この協定により、災害時に応援職員の派遣や救援活動に必要な備品や資器材の提供、あつせんなどを行うことができます。

式では、5市町の社会福祉協議会長らが協定書に調印した後、力強く手を組み、相互協力を確認しました。早崎九洲男長島町社会福祉協議会長は「災害時に協力し合う気持ちを忘れず、絆を確かなものにした」と述べました。

式の後には、福島県いわき市社会福祉協議会ボランティア活動センター長の草野淳氏を講師に迎え、東日本大震災での実体験をもとにした記念講演があり、訪れた各市町の関係者らが熱心に耳を傾けていました。



↑ 東日本大震災当時の生々しい様子を語る草野氏



↑ 協定式に訪れた各市町の関係者ら